

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	WTI原油先物ファンド (ロング・ポジション)	追加型投信／海外／その他資産(商品先物) ／特殊型(ブル・ベア型)
	WTI原油先物ファンド (ショート・ポジション)	
	WTI原油先物ファンド (マネー・ポジション)	追加型投信／国内／債券
信託期間	2019年6月25日までとします。ただし、元本金額が30億円を下回った場合などはファンドを終了(繰上償還)させる場合があります。	
運用方針	WTI原油先物ファンド (ロング・ポジション)	主として米国の原油先物取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きがWTI原油先物取引価格の値動きと概ね連動する投資成果を目指して運用を行ないます。
	WTI原油先物ファンド (ショート・ポジション)	主として米国の原油先物取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きがWTI原油先物取引価格の値動きの概ね反対となる投資成果を目指して運用を行ないます。
	WTI原油先物ファンド (マネー・ポジション)	わが国の短期公社債に投資を行なうことにより、安定した収益の確保を目指して運用を行ないます。
主要運用対象	WTI原油先物ファンド (ロング・ポジション)	米国の原油先物取引およびわが国の短期公社債を中心に投資します。
	WTI原油先物ファンド (ショート・ポジション)	
	WTI原油先物ファンド (マネー・ポジション)	わが国の短期公社債を中心に投資します。
組入制限	WTI原油先物ファンド (ロング・ポジション)	①外貨建資産の投資割合には、制限を設けません。 ②デリバティブ(原油先物取引を含む投資信託及び投資法人に関する法律施行令第3条第10号に規定する商品投資等取引(同号イに掲げるものに限り。))に係る権利を除きます。)の使用は、ヘッジ目的に限定します。
	WTI原油先物ファンド (ショート・ポジション)	
	WTI原油先物ファンド (マネー・ポジション)	①外貨建資産への投資は、行ないません。 ②デリバティブの使用は、ヘッジ目的に限定します。
分配方針	①毎決算期に収益の分配を行なう方針です。ただし、基準価額の水準や市場動向等を勘案して収益の分配を行わない場合もあります。 ②分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。 ③信託財産に留保した収益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づき元本と同一の運用を行ないます。	

WTI原油先物ファンド (ロング・ポジション) WTI原油先物ファンド (ショート・ポジション) WTI原油先物ファンド (マネー・ポジション)

運用報告書(全体版) 満期償還 (2019年6月25日償還)

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)」、「WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)」は、このたび満期償還となりましたので、ここに運用状況等につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アストマックス投信投資顧問株式会社

東京都品川区東五反田二丁目10番2号

サポートダイヤル

0120-580446

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

<http://www.astmaxam.com>

WTI原油先物ファンド(ロング・ポジション)

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			WTI原油先物取引価格 (参考指数)*		商品先物比率	債券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	(参考指数)*	期中騰落率			
(設定日) 2009年7月1日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	% —	百万円 19,954
1期(2010年6月25日)	9,905	0	△1.0	9,453	△5.5	99.5	60.2	12,611
2期(2011年6月27日)	10,224	0	3.2	9,983	5.6	101.8	74.4	5,237
3期(2012年6月25日)	8,454	0	△17.3	8,456	△15.3	103.6	62.7	3,188
4期(2013年6月25日)	9,404	0	11.2	9,641	14.0	100.0	74.5	2,279
5期(2014年6月25日)	10,774	0	14.6	11,017	14.3	107.2	65.6	1,370
6期(2015年6月25日)	5,377	0	△50.1	5,930	△46.2	100.1	68.0	26,675
7期(2016年6月27日)	3,116	0	△42.0	3,463	△41.6	101.0	61.7	15,326
8期(2017年6月26日)	2,385	0	△23.5	2,731	△21.1	99.6	68.6	9,843
9期(2018年6月25日)	3,585	0	50.3	4,260	56.0	100.8	59.5	6,470
(償還時) 10期(2019年6月25日)	(償還価額) 3,156.08	—	△12.0	3,604	△15.4	—	—	2,439

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*商品先物比率=買建比率-売建比率

*設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また、設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

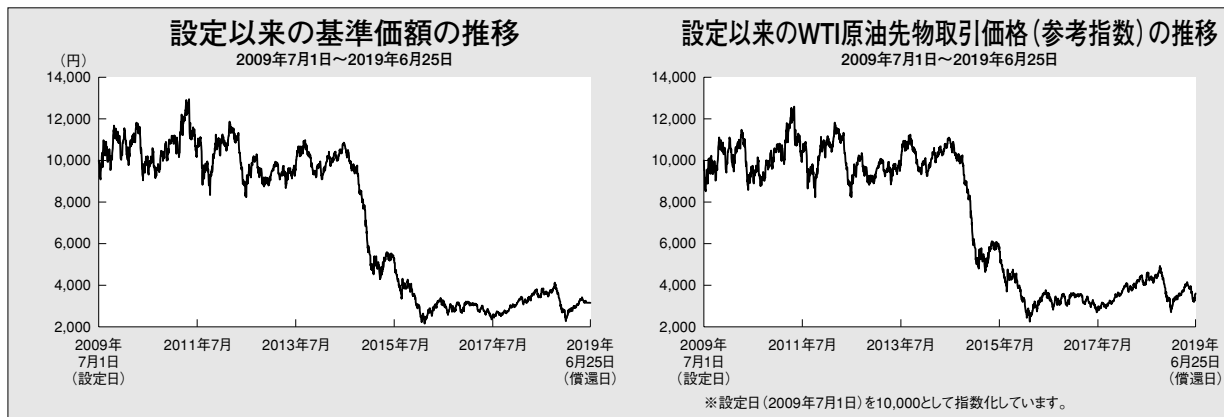
年月日	基準価額		WTI原油先物取引価格 (参考指数)*		商品先物比率	債券組入比率
	騰落率	(参考指数)*	騰落率	(参考指数)*		
(期首) 2018年6月25日	円 3,585	% —	4,260	% —	% 100.8	% 59.5
6月末	3,807	6.2	4,563	7.1	101.7	57.4
7月末	3,707	3.4	4,435	4.1	99.1	57.6
8月末	3,768	5.1	4,511	5.9	99.8	58.2
9月末	3,890	8.5	4,654	9.2	103.0	58.7
10月末	3,554	△0.9	4,261	0.0	105.1	61.8
11月末	2,754	△23.2	3,299	△22.6	101.5	64.9
12月末	2,383	△33.5	2,839	△33.4	99.7	62.9
2019年1月末	2,859	△20.3	3,436	△19.4	99.3	57.4
2月末	2,983	△16.8	3,584	△15.9	103.4	56.0
3月末	3,076	△14.2	3,716	△12.8	102.5	60.4
4月末	3,369	△6.0	4,082	△4.2	98.4	60.2
5月末	3,161	△11.8	3,537	△17.0	—	—
(償還時) 2019年6月25日	(償還価額) 3,156.08	△12.0	3,604	△15.4	—	—

*期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

*商品先物比率=買建比率-売建比率

※WTI原油先物取引価格(参考指数)は、WTI原油先物取引価格(期近物)の日々の騰落率を、設定日を10,000として指数化したものを使用しています。日々の騰落率については、原則として基準価額計算前日付のWTI原油先物取引価格(期近物)の値に基づき算出しています。なお、期近物の最終取引日の騰落率は、翌限月のものを使用しています。

設定以来の運用実績



〈基準価額の動き〉

当ファンドの償還価額は設定日比6,843円92銭下落（-68.4%）の3,156円08銭となりました。

〈基準価額の主な変動要因〉

当ファンドは、日々の基準価額の値動きがWTI原油先物取引価格の値動きと概ね連動する投資成果を目指して運用を行ないます。当ファンドの日々の基準価額の値動きは、WTI原油先物取引価格の値動きと概ね連動しました。

信託期間を通してみると、基準価額はWTI原油先物取引価格が下落したことなどを受けて値下がりしました。

〈収益分配金〉

収益分配金(1万口当たり、課税前、以下同じ)については、基準価額の水準や分配原資の積み上がり状況等を勘案し、設定来分配を見送らせていただきました。

〈市況〉

WTI原油先物取引価格(期近物)は、世界的な景気回復期待や原油需要の増加見通しなどを受けて2010年春頃にかけて堅調に推移しました。その後は反落する局面も見られましたが、米国の量的金融緩和実施を契機とした商品市場への資金流入や内戦勃発によりリビアの原油輸出が中断したことなどをを受けて上昇し、2011年4月にはWTI原油先物取引価格は110ドル(1バレル当たり。以下、同じ)を上回る水準となりました。2011年半ば以降は米国国債の格下げやギリシャのユーロ離脱懸念などから下落する局面もありましたが、イ

ランの核開発問題など中東地域の地政学的リスクが意識されたことや株式市場の上昇を背景としたリスク選好の動きなどが相場の押し上げ要因となり、2014年半ばにかけてWTI原油先物取引価格は底堅く推移しました。しかしその後は、米国の所謂「シェール革命」により同国の原油生産量が増加する一方、石油輸出国機構(OPEC)総会での減産の見送りを受けて世界的な原油の供給過剰懸念が高まったことなどから大きく下落し、WTI原油先物取引価格は2016年初めに30ドルを下回る水準となりました。2016年11月開催のOPEC総会で原油の減産について加盟国が正式に合意し、その後の非加盟産油国との協調減産などを受けてWTI原油先物取引価格は上昇に転じ、イランと国連常任理事国5か国にドイツを加えた6か国が締結した核合意から米国が離脱を決めたことなどを受けて2018年秋頃まで上昇基調を辿りました。協調減産の一部緩和が決定されたことや米連邦準備理事会(FRB)が利上げ継続の方針を示したことなどから2018年末にかけてWTI原油先物取引価格は大きく下落しましたが、2019年の年明け以降はFRBの金融政策スタンスが緩和方向に転じたことを受けて投資家のリスク選好姿勢が改善したことなどから反発しました。

■ 設定以来の運用経過

当ファンドは、主として米国の原油先物取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きがWTI原油先物取引価格の値動きと概ね連動する投資成果を目指して運用を行なうことを基本としています。運用にあたっては、原油先物取引の買建玉の時価総額の合計額が信託財産の純資産総額と同程度となるよう調整を行なうとともに、国内余剰資金については、わが国の短期公社債に投資を行ないます。また、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行なうこととしています。

設定来、原油先物取引の買建玉の時価総額の合計額が信託財産の純資産総額と同程度となるよう日々調整を行ないました。国内余剰資金については、主として短期の国債(国庫短期証券)に投資を行ないました。また、外貨建資産については、ほぼ全額為替ヘッジを行ないました。

なお、満期償還に備えるため、2019年5月に原油先物取引の建玉を解消し、安定運用への切り替えを行ないました。

受益者の皆様におかれましては、当ファンドにご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。今後とも投資信託の運用につきましては、投資家の皆様のご期待に添えますよう万全を期して努力してまいりますので、より一層のご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2018.6.26~2019.6.25)		
	金 額	比 率	
信託報酬	67円	2.041%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率。期中の平均基準価額(月末値の平均値)は3,275円です。
(投信会社)	(39)	(1.177)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(27)	(0.810)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	3	0.101	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数。売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(3)	(0.101)	
その他費用	2	0.069	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.000)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(法定開示に係る費用)	(2)	(0.062)	印刷会社等に支払う目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付等に係る費用
合 計	72	2.211	

* 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 「金額」欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

売買及び取引の状況 (2018年6月26日から2019年6月25日まで)

(1) 公社債

	買 付 額	売 付 額
国内	千円	千円
国 債 証 券	12,006,379	4,150,977 (11,700,000)

* 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

* 単位未満は切捨て。

* () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 先物取引の銘柄別取引状況

銘 柄 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	百万円	百万円	百万円	百万円
商品先物取引 WTI原油先物	40,664	46,840	—	—

* 単位未満は切捨て。

* 期中の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

* —印は該当なし。

■ 主要な売買銘柄

● 公社債 (自2018年6月26日 至2019年6月25日)

買 付		当 期	売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額	
	千円		千円	
第789回国庫短期証券	3,552,808	第828回国庫短期証券	2,000,430	
第770回国庫短期証券	3,551,274	第789回国庫短期証券	1,550,496	
第809回国庫短期証券	2,000,938	第800回国庫短期証券	300,010	
第828回国庫短期証券	2,000,834	第826回国庫短期証券	200,036	
第800回国庫短期証券	300,282	第755回国庫短期証券	100,004	
第826回国庫短期証券	200,106			
第807回国庫短期証券	200,074			
第814回国庫短期証券	200,061			

*金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況 (自2018年6月26日 至2019年6月25日)

期中における利害関係人との取引はありません。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細 (2019年6月25日現在)

有価証券等の残高はありません。

■ 投資信託財産の構成

(2019年6月25日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	2,540,388	100.0
投資信託財産総額	2,540,388	100.0

*評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年6月25日)現在

項 目	償 還 時	円
(A) 資 産	2,540,388,150	
コール・ローン等	2,540,388,150	
(B) 負 債	100,651,047	
未払解約金	57,694,423	
未払信託報酬	41,801,159	
未払利息	5,435	
その他未払費用	1,150,030	
(C) 純資産総額(A - B)	2,439,737,103	
元 本	7,730,280,447	
償 還 差 損 金	△5,290,543,344	
(D) 受 益 権 総 口 数	7,730,280,447口	
1万口当たり償還価額(C/D)	3,156円08銭	

損益の状況

当期(自2018年6月26日 至2019年6月25日)

項 目	当 期	円
(A) 配 当 等 収 益	△671,341	
受 取 利 息	△2,808,746	
そ の 他 収 益 金	2,474,454	
支 払 利 息	△337,049	
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△52,215,580	
売 買 益	120,575,508	
売 買 損	△172,791,088	
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	△119,015,183	
取 引 益	1,862,637,181	
取 引 損	△1,981,652,364	
(D) 信 託 報 酬 等	△101,586,160	
(E) 当 期 損 益 金 (A + B + C + D)	△273,488,264	
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	△76,018,958	
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△4,941,036,122	
(配 当 等 相 当 額)	(916,788,168)	
(売 買 損 益 相 当 額)	(△5,857,824,290)	
(H) 収 益 分 配 金	—	
償 還 差 損 金 (E + F + G + H)	△5,290,543,344	

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

- ・期首元本額 18,045,891,681円
- ・期中追加設定元本額 2,373,720,853円
- ・期中一部解約元本額 12,689,332,087円

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2009年7月1日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2019年6月25日		資産総額	2,540,388,150円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	100,651,047円
受益権口数	19,954,097,402口	7,730,280,447口	△12,223,816,955口	純資産総額	2,439,737,103円
				受益権口数	7,730,280,447口
元本額	19,954,097,402円	7,730,280,447円	△12,223,816,955円	1万口当たり償還金	3,156.08円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	12,733,181,860円	12,611,874,004円	9,905円	0円	0.0000%
第2期	5,122,525,171円	5,237,068,612円	10,224円	0円	0.0000%
第3期	3,771,326,694円	3,188,186,658円	8,454円	0円	0.0000%
第4期	2,424,256,542円	2,279,709,280円	9,404円	0円	0.0000%
第5期	1,272,479,653円	1,370,943,210円	10,774円	0円	0.0000%
第6期	49,613,832,321円	26,675,228,262円	5,377円	0円	0.0000%
第7期	49,187,752,563円	15,326,056,988円	3,116円	0円	0.0000%
第8期	41,277,582,132円	9,843,596,103円	2,385円	0円	0.0000%
第9期	18,045,891,681円	6,470,213,343円	3,585円	0円	0.0000%

償還金のお知らせ

1万口(元本1万円)当たり 償還金	3,156円08銭
----------------------	-----------

償還金の課税上の取り扱いについて

償還時の差益については、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%)の税率による申告分離課税が適用されます。

※法人の場合は上記と異なります。

※税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等に確認されることをお勧めいたします。

WTI原油先物ファンド(ショート・ポジション)

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			WTI原油先物取引価格 (参考指数)*		商品先物比率	債券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	(参考指数)*	期中騰落率			
(設定日) 2009年7月1日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	% —	百万円 1,058
1期(2010年6月25日)	8,807	0	△11.9	9,453	△5.5	△99.5	55.3	1,048
2期(2011年6月27日)	7,381	0	△16.2	9,983	5.6	△96.8	72.5	1,172
3期(2012年6月25日)	7,770	0	5.3	8,456	△15.3	△87.3	58.3	514
4期(2013年6月25日)	6,311	0	△18.8	9,641	14.0	△99.4	66.6	1,020
5期(2014年6月25日)	5,095	0	△19.3	11,017	14.3	△100.5	68.7	699
6期(2015年6月25日)	8,809	0	72.9	5,930	△46.2	△98.9	60.2	581
7期(2016年6月27日)	12,099	0	37.3	3,463	△41.6	△92.0	60.0	783
8期(2017年6月26日)	13,537	0	11.9	2,731	△21.1	△101.1	58.2	326
9期(2018年6月25日)	7,952	0	△41.3	4,260	56.0	△107.6	63.0	349
(償還時) 10期(2019年6月25日)	(償還価額) 8,117.75	—	2.1	3,604	△15.4	—	—	41

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*商品先物比率=買建比率-売建比率

*設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また、設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

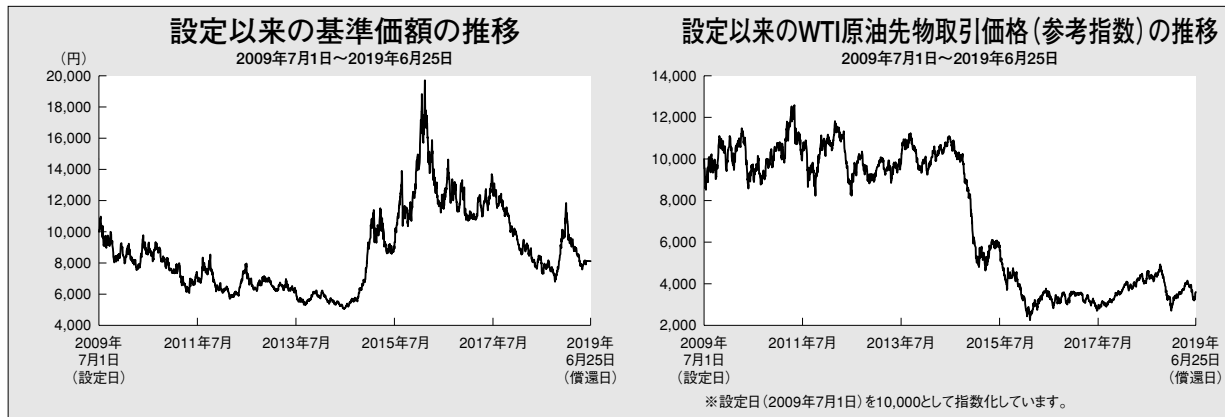
年月日	基準価額		WTI原油先物取引価格 (参考指数)*		商品先物比率	債券組入比率
	騰落率	(参考指数)*	騰落率	(参考指数)*		
(期首) 2018年6月25日	円 7,952	% —	4,260	% —	% △107.6	% 63.0
6月末	7,395	△7.0	4,563	7.1	△103.1	63.5
7月末	7,604	△4.4	4,435	4.1	△100.4	61.8
8月末	7,460	△6.2	4,511	5.9	△101.1	62.0
9月末	7,233	△9.0	4,654	9.2	△102.9	61.4
10月末	7,790	△2.0	4,261	0.0	△102.7	62.3
11月末	9,912	24.6	3,299	△22.6	△101.7	58.9
12月末	11,231	41.2	2,839	△33.4	△84.6	54.7
2019年1月末	9,235	16.1	3,436	△19.4	△100.5	63.5
2月末	8,807	10.8	3,584	△15.9	△103.8	67.2
3月末	8,510	7.0	3,716	△12.8	△95.0	63.0
4月末	7,706	△3.1	4,082	△4.2	△95.4	56.1
5月末	8,127	2.2	3,537	△17.0	—	—
(償還時) 2019年6月25日	(償還価額) 8,117.75	2.1	3,604	△15.4	—	—

*期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

*商品先物比率=買建比率-売建比率

※WTI原油先物取引価格(参考指数)は、WTI原油先物取引価格(期近物)の日々の騰落率を、設定日を10,000として指数化したものを使用しています。日々の騰落率については、原則として基準価額計算日前日付のWTI原油先物取引価格(期近物)の値に基づき算出しています。なお、期近物の最終取引日の騰落率は、翌限月のものを使用しています。

■ 設定以来の運用実績



〈基準価額の動き〉

当ファンドの償還価額は設定日比1,882円25銭下落（-18.8%）の8,117円75銭となりました。

〈基準価額の主な変動要因〉

当ファンドは、日々の基準価額の値動きがWTI原油先物取引価格の値動きの概ね反対となる投資成果を目指して運用を行ないます。当ファンドの日々の基準価額の値動きは、WTI原油先物取引価格の値動きの概ね反対で推移しました。

信託期間を通してみると、基準価額は2016年2月以降の下落が大きかったことなどから値下がりしました。

なお、当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、WTI原油先物取引価格の値動きの概ね反対となる投資成果を目指して運用を行なうため、日々の運用目標が正確に達成されたとしても、2日以上保有した場合は、「概ね反対」とはならないことが想定されます。詳しくは、目論見書の説明をご覧ください。

〈収益分配金〉

収益分配金(1万口当たり、課税前、以下同じ)については、基準価額の水準や分配原資の積み上がり状況等を勘案し、設定来分配を見送らせていただきました。

〈市況〉

WTI原油先物取引価格(期近物)は、世界的な景気回復期待や原油需要の増加見通しなどをを受けて2010年春頃にかけて堅調に推移しました。その後は反落する局面も見られましたが、米国の量的金融緩和実施を契機とした商品市場への資金流入や内戦勃発によりリビアの原油輸出が中断したことなどをを受けて上昇し、

2011年4月にはWTI原油先物取引価格は110ドル(1バレル当たり。以下、同じ)を上回る水準となりました。2011年半ば以降は米国国債の格下げやギリシャのユーロ離脱懸念などから下落する局面もありましたが、イランの核開発問題など中東地域の地政学的リスクが意識されたことや株式市場の上昇を背景としたリスク選好の動きなどが相場の押し上げ要因となり、2014年半ばにかけてWTI原油先物取引価格は底堅く推移しました。しかしその後は、米国の所謂「シェール革命」により同国の原油生産量が増加する一方、石油輸出国機構(OPEC)総会での減産の見送りを受けて世界的な原油の供給過剰懸念が高まったことなどから大きく下落し、WTI原油先物取引価格は2016年初めに30ドルを下回る水準となりました。2016年11月開催のOPEC総会で原油の減産について加盟国が正式に合意し、その後の非加盟産油国との協調減産などを受けてWTI原油先物取引価格は上昇に転じ、イランと国連常任理事国5か国にドイツを加えた6か国が締結した核合意から米国が離脱を決めたことなどを受けて2018年秋頃まで上昇基調を辿りました。協調減産の一部緩和が決定されたことや米連邦準備理事会(FRB)が利上げ継続の方針を示したことなどから2018年末にかけてWTI原油先物取引価格は大きく下落しましたが、2019年の年明け以降はFRBの金融政策スタンスが緩和方向に転じたことを受けて投資家のリスク選好姿勢が改善したことなどから反発しました。

■ 設定以来の運用経過

当ファンドは、主として米国の原油先物取引を積極的に活用し、日々の基準価額の値動きがWTI原油先物取引価格の値動きの概ね反対となる投資成果を目指して運用を行なうことを基本としています。運用にあたっては、原油先物取引の売建玉の時価総額の合計額が信託財産の純資産総額と同程度となるよう調整を行なうとともに、国内余剰資金については、わが国の短期公社債に投資を行ないます。また、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行なうこととしています。

設定来、原油先物取引の売建玉の時価総額の合計額が信託財産の純資産総額と同程度となるよう日々調整を行ないました。国内余剰資金については、主として短期の国債(国庫短期証券)に投資を行ないました。また、外貨建資産については、ほぼ全額為替ヘッジを行ないました。

なお、満期償還に備えるため、2019年5月に原油先物取引の建玉を解消し、安定運用への切り替えを行ないました。

受益者の皆様におかれましては、当ファンドにご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。今後とも投資信託の運用につきましては、投資家の皆様のご期待に添えますよう万全を期して努力してまいりますので、より一層のご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2018.6.26~2019.6.25)		
	金 額	比 率	
信託報酬	172円	2.041%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率。期中の平均基準価額（月末値の平均値）は8,417円です。
（投信会社）	(99)	(1.177)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(68)	(0.810)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(5)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	12	0.142	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数。売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(12)	(0.142)	
その他費用	7	0.079	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.005)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.008)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（法定開示に係る費用）	(6)	(0.066)	印刷会社等に支払う目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付等に係る費用
合 計	191	2.262	

* 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 「金額」欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

売買及び取引の状況 (2018年6月26日から2019年6月25日まで)

(1) 公社債

	買 付 額	売 付 額
国内	千円	千円
国 債 証 券	520,217	290,064 (450,000)

*金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切捨て。

* () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 先物取引の銘柄別取引状況

銘 柄 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	百万円	百万円	百万円	百万円
商品先物取引 WTI原油先物	—	—	2,815	3,141

*単位未満は切捨て。

*期中の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

*一印は該当なし。

■ 主要な売買銘柄

● 公社債 (自2018年6月26日 至2019年6月25日)

買 付		当 期	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
第782回国庫短期証券	90,031	第820回国庫短期証券	50,003
第801回国庫短期証券	70,032	第769回国庫短期証券	30,015
第762回国庫短期証券	60,024	第762回国庫短期証券	30,014
第820回国庫短期証券	50,019	第785回国庫短期証券	30,001
第769回国庫短期証券	30,021	第795回国庫短期証券	20,006
第785回国庫短期証券	30,008	第801回国庫短期証券	20,006
第766回国庫短期証券	30,006	第802回国庫短期証券	20,004
第795回国庫短期証券	20,012	第760回国庫短期証券	20,003
第802回国庫短期証券	20,011	第824回国庫短期証券	20,003
第779回国庫短期証券	20,007	第773回国庫短期証券	20,001

*金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況 (自2018年6月26日 至2019年6月25日)

期中における利害関係人との取引はありません。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細 (2019年6月25日現在)

有価証券等の残高はありません。

■ 投資信託財産の構成

(2019年6月25日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	43,250	100.0
投資信託財産総額	43,250	100.0

*評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年6月25日)現在

項 目	償 還 時	円
(A) 資 産		43,250,926
コール・ローン等		43,250,926
(B) 負 債		1,306,473
未 払 解 約 金		231,832
未 払 信 託 報 酬		1,045,825
未 払 利 息		92
そ の 他 未 払 費 用		28,724
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)		41,944,453
元 本		51,670,020
償 還 差 損 金		△9,725,567
(D) 受 益 権 総 口 数		51,670,020口
1万口当たり償還価額(C/D)		8,117円75銭

損益の状況

当期 (自2018年6月26日 至2019年6月25日)

項 目	当 期	円
(A) 配 当 等 収 益		62,433
受 取 利 息		△109,666
そ の 他 収 益 金		185,705
支 払 利 息		△13,606
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益		△1,011,433
売 買 益		8,436,618
売 買 損		△9,448,051
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益		3,549,045
取 引 益		63,258,891
取 引 損		△59,709,846
(D) 信 託 報 酬 等		△4,652,588
(E) 当 期 損 益 金 (A + B + C + D)		△2,052,543
(F) 前 期 繰 越 損 益 金		△1,038,587
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金		△6,634,437
(配 当 等 相 当 額)		(20,297,121)
(売 買 損 益 相 当 額)		(△26,931,558)
(H) 収 益 分 配 金		—
償 還 差 損 金 (E + F + G + H)		△9,725,567

* 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益および (C) 先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で (D) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で (G) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

・ 期首元本額	439,465,867円
・ 期中追加設定元本額	558,440,097円
・ 期中一部解約元本額	946,235,944円

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2009年7月1日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2019年6月25日		資産総額	43,250,926円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	1,306,473円
受益権口数	1,058,106,549口	51,670,020口	△1,006,436,529口	純資産総額	41,944,453円
元本額	1,058,106,549円	51,670,020円	△1,006,436,529円	受益権口数	51,670,020口
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	1,190,234,422円	1,048,260,396円	8,807円	0円	0.0000%
第2期	1,587,933,014円	1,172,029,716円	7,381円	0円	0.0000%
第3期	661,738,620円	514,138,828円	7,770円	0円	0.0000%
第4期	1,617,027,712円	1,020,506,806円	6,311円	0円	0.0000%
第5期	1,372,021,961円	699,084,186円	5,095円	0円	0.0000%
第6期	660,098,112円	581,473,087円	8,809円	0円	0.0000%
第7期	647,579,150円	783,495,098円	12,099円	0円	0.0000%
第8期	241,318,019円	326,684,171円	13,537円	0円	0.0000%
第9期	439,465,867円	349,469,869円	7,952円	0円	0.0000%

償還金のお知らせ

1万口(元本1万円)当たり 償還金	8,117円75銭
----------------------	-----------

償還金の課税上の取り扱いについて

償還時の差益については、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%)の税率による申告分離課税が適用されます。

※法人の場合は上記と異なります。

※税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等に確認されることをお勧めいたします。

WTI原油先物ファンド(マネー・ポジション)

■ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率		
(設 定 日) 2009年7月1日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 10
1期(2010年6月25日)	9,998	0	△0.0	66.2	906
2期(2011年6月27日)	9,999	0	0.0	82.7	725
3期(2012年6月25日)	10,000	0	0.0	80.7	371
4期(2013年6月25日)	10,005	0	0.1	82.1	182
5期(2014年6月25日)	10,009	0	0.0	60.5	248
6期(2015年6月25日)	10,009	0	0.0	76.3	1,179
7期(2016年6月27日)	10,004	0	△0.0	58.0	1,000
8期(2017年6月26日)	9,984	0	△0.2	56.3	461
9期(2018年6月25日)	9,974	0	△0.1	62.7	478
(償 還 時) 10期(2019年6月25日)	(償還価額) 9,960.08	—	△0.1	—	136

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドは、投資資金を一時待機させておくことを目的としたファンドであり、該当するベンチマーク等はありません。

*設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また、設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を記載しています。

■ 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 券 組入比率
	騰落率		
(期 首) 2018年6月25日	円 9,974	% —	% 62.7
6月末	9,974	0.0	58.4
7月末	9,973	△0.0	61.7
8月末	9,972	△0.0	59.7
9月末	9,971	△0.0	62.4
10月末	9,970	△0.0	60.1
11月末	9,968	△0.1	82.2
12月末	9,967	△0.1	71.8
2019年1月末	9,965	△0.1	69.5
2月末	9,964	△0.1	63.0
3月末	9,963	△0.1	64.2
4月末	9,962	△0.1	57.7
5月末	9,960	△0.1	—
(償 還 時) 2019年6月25日	(償還価額) 9,960.08	△0.1	—

*期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

■ 設定以来の運用実績

〈基準価額の動き〉

当ファンドの償還価額は設定日比39円92銭下落（-0.4%）の9,960円08銭となりました。

〈基準価額の主な変動要因〉

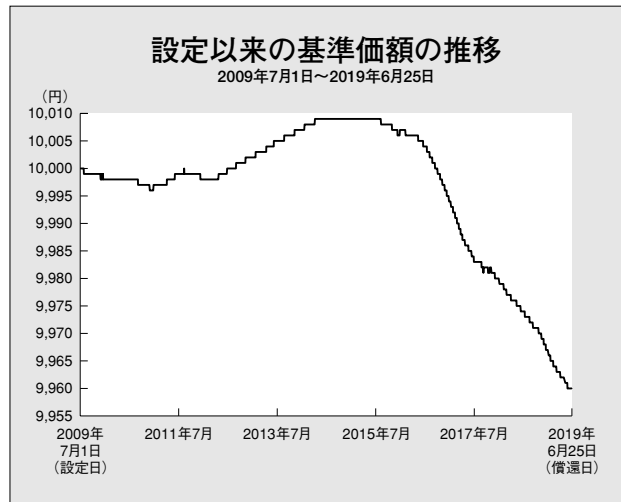
国庫短期証券（3ヶ月）の利回りが2014年9月以降は概ねマイナスで推移するなど利息収入等の運用収益を確保することが困難な状況が続いたことなどから、基準価額は下落しました。

〈収益分配金〉

収益分配金（1万口当たり、課税前、以下同じ）については、基準価額の水準や分配原資の積み上がり状況等を勘案し、設定来分配を見送らせていただきました。

〈市況〉

日本銀行が金融緩和政策を継続したことから、設定来、短期金利は低水準で推移しましたが、マイナス金利政策の影響などを受けて、信託期間の後半は無担保コール翌日物金利および国庫短期証券（3ヶ月）の利回りは概ねマイナスでの推移となりました。



■ 設定以来の運用経過

当ファンドは、わが国の短期公社債に投資を行なうことにより、安定した収益の確保を目指して運用を行なうことを基本としています。

設定来、主として短期の国債（国庫短期証券）に投資を行ないました。

受益者の皆様におかれましては、当ファンドにご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。今後とも投資信託の運用につきましては、投資家の皆様のご期待に添えますよう万全を期して努力してまいり所存でございますので、より一層のご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2018.6.26~2019.6.25)		
	金 額	比 率	
信託報酬	－円	－%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率。期中の平均基準価額（月末値の平均値）は9,967円です。
（投信会社）	（－）	（－）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（－）	（－）	交付運用報告書等各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（－）	（－）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
合 計	－	－	

* 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 「金額」欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

売買及び取引の状況 (2018年6月26日から2019年6月25日まで)

● 公社債

	買 付 額	売 付 額
国内 国 債 証 券	千円 970,494	千円 290,060 (980,000)

* 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

* 単位未満は切捨て。

* () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

主要な売買銘柄

● 公社債 (自2018年6月26日 至2019年6月25日)

買 付		期 売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
第770回国庫短期証券	180,064	第828回国庫短期証券	120,025
第789回国庫短期証券	120,094	第824回国庫短期証券	70,011
第795回国庫短期証券	120,083	第770回国庫短期証券	60,011
第809回国庫短期証券	120,056	第756回国庫短期証券	20,007
第828回国庫短期証券	120,050	第762回国庫短期証券	20,003
第776回国庫短期証券	120,048		
第814回国庫短期証券	80,045		
第824回国庫短期証券	70,023		
第787回国庫短期証券	20,015		
第762回国庫短期証券	20,012		

* 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

* 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況 (自2018年6月26日 至2019年6月25日)

期中における利害関係人との取引はありません。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2019年6月25日現在)

有価証券等の残高はありません。

投資信託財産の構成

(2019年6月25日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	138,256	100.0
投資信託財産総額	138,256	100.0

*評価額の単位未満は切捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年6月25日)現在

項 目	償 還 時	円
(A) 資 産	138,256,028	
コール・ローン等	138,256,028	
(B) 負 債	1,287,576	
未払解約金	1,287,281	
未払利息	295	
(C) 純資産総額(A - B)	136,968,452	
元 本	137,517,398	
償還差損金	△548,946	
(D) 受益権総口数	137,517,398口	
1万口当たり償還価額(C/D)	9,960円08銭	

■ 損益の状況

当期(自2018年6月26日 至2019年6月25日)

項 目	当 期	円
(A) 配 当 等 収 益	△93,736	
受 取 利 息	△75,419	
支 払 利 息	△18,317	
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,629	
売 買 益	2,641	
売 買 損	△1,012	
(C) 信 託 報 酬 等	—	
(D) 当期損益金(A + B + C)	△92,107	
(E) 前期繰越損益金	△9,056	
(F) 追加信託差損益金	△447,783	
(配 当 等 相 当 額)	(△174,245)	
(売 買 損 益 相 当 額)	(△273,538)	
(G) 収 益 分 配 金	—	
償還差損金(D + E + F + G)	△548,946	

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

・ 期首元本額	479,802,727円
・ 期中追加設定元本額	789,246,706円
・ 期中一部解約元本額	1,131,532,035円

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2009年7月1日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2019年6月25日			資産総額	138,256,028円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	1,287,576円	
受益権口数	10,000,000口	137,517,398口	127,517,398口	純資産総額	136,968,452円	
				受益権口数	137,517,398口	
元本額	10,000,000円	137,517,398円	127,517,398円	1万口当たり償還金	9,960.08円	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	906,234,254円	906,050,192円	9,998円	0円	0.0000%	
第2期	725,340,950円	725,272,459円	9,999円	0円	0.0000%	
第3期	371,936,527円	371,918,980円	10,000円	0円	0.0000%	
第4期	182,488,980円	182,575,728円	10,005円	0円	0.0000%	
第5期	247,805,457円	248,031,502円	10,009円	0円	0.0000%	
第6期	1,178,032,788円	1,179,051,185円	10,009円	0円	0.0000%	
第7期	999,722,328円	1,000,143,672円	10,004円	0円	0.0000%	
第8期	462,237,673円	461,476,925円	9,984円	0円	0.0000%	
第9期	479,802,727円	478,555,426円	9,974円	0円	0.0000%	

償還金のお知らせ

1万口(元本1万円)当たり 償還金	9,960円08銭
----------------------	-----------

償還金の課税上の取り扱いについて

償還時の差益については、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%)の税率による申告分離課税が適用されます。

※法人の場合は上記と異なります。

※税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等に確認されることをお勧めいたします。